報道関係者各位

平成25年1月16日

長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

プレスリリース News

No. 64

2月 町屋展示・特集展示のご案内

町屋及び美術展示室の展示替えを行いました。
情報掲載もしくは取材をよろしくお願いいたします。

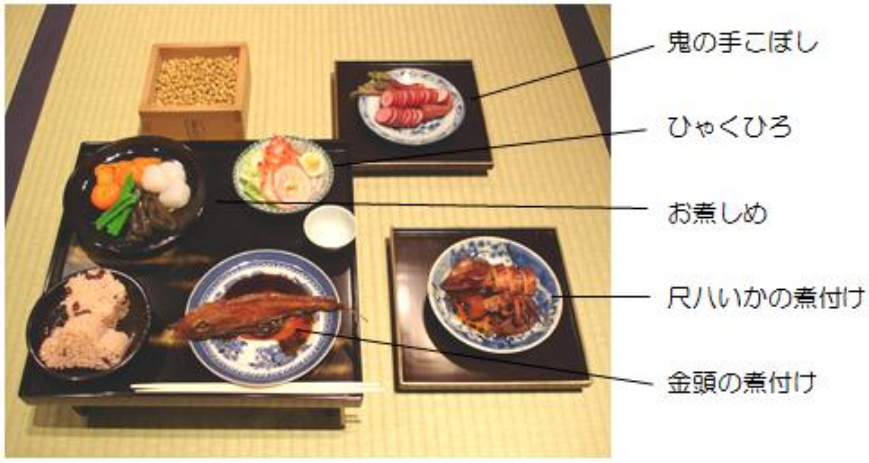
町屋 「節分」 展示期間:1月16～2月18日

会場:常設展　歴史文化展示ゾーン

長崎の江戸時代の町屋を復元したコーナーでは、季節ごとの伝統行事にちなんだ飾りや郷土料理を紹介しています。
今回の展示は「節分」です。
「節分」とは、本来、立春・立夏・立秋・立冬の前日を意味していましたが、次第に春の節分を指すものとなりました。旧暦でいうと「大晦日」に当たるということで、その年の厄をはらって新年を迎えるための行事「豆撒き」が行われます。

今はあまり見られなくなりましたが、節分のときに食べてられていた長崎の郷土料理を再現し展示しています。「金頭（かながしら）の煮付け」や「尺八イカの煮付け」、「鯨の百尋（ひゃくひろ）」など、長崎ならではの料理を展示しています。

節分料理



次回は「桃の節句」　展示期間:2月20日～3月31日

長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

〒850-0007　長崎市立山1-1-1
TEL:095-818-8366　FAX:095-818-8407
担当　教育普及グループ　　広報担当　川口・大石み

時　間　：8時30分～19時（入場は18:30分まで）
観覧料　：大人600円（480円）
（常設展）　小中高校生300円（240円）
※（ ）は15名以上の団体料金　※県内小中学生は無料

報道関係者各位

平成25年1月16日

長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

プレスリリース News

No. 64

特集展示　長崎の名所案内

1月16日(水)～3月18日(月)

会場:常設展　歴史文化展示ゾーン(美術展示室)

江戸時代中期、江戸や京都を中心に日本各地で名所案内がつくられるようになると、長崎でも名所案内がつくられました。

今回の展示では、「長崎名所案内の成立」・「紀行文と司馬江漢」・「【長崎名勝図絵】の世界」・「長崎八景」・「長崎の丸山遊女」という五つのテーマに分けて、旅を通じた長崎のイメージ風景を紹介していきます。

大和屋版「長崎八景」

名所には、地域のすばらしい光景である名勝が選ばれました。その光景は絵師たちによって描かれ、やがて名所案内にも挿絵として紹介されると、人々はその場所を訪れるようになりました。長崎の歴史・旧跡の紹介は、長崎の人々によってまとめられた旧記類に基づいており、人々の歴史意識を反映しています。

一方、各地の名所案内が、地域の名勝・旧跡・伝承・名物を中心に構成されていたのに対し、
長崎の名所案内は「異国との交流」を紹介している点に大きな特徴がありました。このように、旅を通した長崎のイメージ風景を、長崎の人々・旅行者、そして異国への視線から紹介します。

長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

〒850-0007　長崎市立山1-1-1
TEL:095-818-8366　FAX:095-818-8407
担当　教育普及グループ　　広報担当　川口・大石み

時　間　：8時30分～19時(入場は18:30分まで)
観覧料　：大人600円(480円)
(常設展)　小中高校生300円(240円)
※(　)は15名以上の団体料金　※県内小中学生は無料